

鋸南町過疎地域持続的発展計画(素案)に関するパブリックコメント(意見募集)の結果

1 意見募集の実施状況

- (1) 募集期間 令和3年7月7日(水)から7月19日(月)まで
- (2) 意見の提出者数 2名
- (3) 意見の件数 3件

2 意見募集の結果

No.	意見	町の考え方
1	<p>② 総合計画(概要版)P2 当町の総合計画の最大の課題は県下自治体中最大の人口減少率となっている問題だ。平成2年の国勢調査時▲3.1%の11,800人、以来5年ごとの調査で段々にマイナスが大きくなり令和2年では▲12.76%の6998人となった。首都圏の自治体ではまだプラスの所も多いが、鋸南町は論外で活力がなくなるのも当然だ。過去の総合計画でも問題視してきたと思うが、例えばこの5年なり10年ではどんな取り組みをして(目標)、結果はどうだったのか、この取り組みと結果の見える化が出来ていない。計画だけは立派な言葉での作文があっても見せかけだけで、取組実績を少なくとも1年単位で町民に説明会をし計量値で町民に示すべきだ。(鴨川市は曲がりなりにもこれを行っている) 合計特殊出生率も今は1.00くらいだが、2.07にまで上昇させその後はこれを維持する。これは理想だが数遊びだけでは、何をどうするからそうなるのか全く分からない。移動の仮説もそうだがそろそろ移動するその人が居なくなるのでは。 4年に1度の町長の選挙前のOHPによる説明では、人口の問題が出てきたら町長はこれは難しいからはい次、などと言ってはしょっているようではどんな苦勞をしているかも分からない人口減のこの問題だけの説明会でもいいと思う。それも年1回くらい開催すべきだ。</p>	<p>ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

2	<p>②. 総合計画(概要版)P5 基本目標4:「利便性の高い生活しやすいまち」について。 高齢化率の県下1番高い鋸南町の高齢者の日常生活の買い物弱者は多く最も心配することだ。 私は議員の時「セブンイレブン・ジャパン」と交渉し生活必需品の移動販売車の営業の交渉をし、国内26番目の実現をしてもらい現在町内で週に50か所くらいの拠点で店開きをして高齢者から大変喜ばれている。住み慣れた地域で自立して生活できるようにします。誰でも安心して暮らしていけるまちづくりなど書いているところがあるが、どうしようとしているのか言葉だけではないのか。町長は私のこの質問に赤バス・青バスと送迎ボランティアで対応するとの回答であったが全く何もできなかったのではないか。 現在の移動販売車だけでは不十分と思っている。更に町内を網羅すべく進めてほしい。本当にやる気があるなら大変喜ばしい大いにPRしてほしい。</p>	<p>ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>鋸南町DMO運営のための予算措置と人員配置について 町の現役世代は、町外に仕事に出ていると、地元の経済についてあまり関心を抱けないかもしれません。自らが生活する場所での地域振興や経済に対する視点が空洞化しているとも言えます。 過疎化で端的に影響が出ているのは、耕作放棄地の増加や山林の荒廃に伴う災害、空家や廃屋などの景観悪化、林縁部のヤブ化や獣害対策の担い手不足による農作物被害だと思えます。そして諦めという心の過疎化でしょう。 町で観光による地元振興を目指すのであれば、かつての成功体験ではなく、観光関連会社(旅行会社や大手航空会社など)の勤務経験者などの、いわばプロフェッショナル(意外と町内にいると思えます)に町の観光に携わってもらおう仕組みがあると良いと考えます。 マイクロツーリズム(東京や県内都市部からの日帰り旅行など)から、発展的に2拠点居住や関係人口創出へとつながる、長期的なビジョンを40～50歳台などの経験豊富な若手が将来の10～20年を見据えて事業や施策に取り組めると良いかと思えます。今の町の姿を残した先人には敬意を払いつつも、将来を担う若手にチャンスを与えるべきと考えます。 観光のプロを含む観光協会の実効的運営と機能を十分に発揮できていない観光案内所の改変など、鋸南町DMO運営のための予算措置と人員配置を提案します。 コロナ禍の不安は分かりますが、冷静に(マスメディアの偏重報道や政府の方針に振り回されるのではなく)客観的に状況を見極め、将来の町のため(これは鋸南ファーストという意味ではない。順番や優先順位の問題ではない)になる方針や施策を考えるべきだと思います。 日本はそもそも、山と海が近く、山の人と海の人、都会と田舎で人の移動が盛んだったと言われます。人々の移動が、文化や経済の流れを生み、交流を通じた社会の維持が進んだと言われます。鋸南町においても、観光を含めた交流が生む刺激が様々な課題に取り組める持続可能な力強い地域づくりに効果があると考えます。 加えて、観光農業の鋸南町ならではの取り組みも提案したいです。首都圏からこれだけアクセスが良く、小規模ながらも多品種の作物が作れ、海と山の魅力を合わせ持ち、獣害対策のジャンルでも交流が続いていた町には、例えば観光農園も含めたDMOの運営は多くの農家さんや若手就農者の活躍の場を作ることにつながると思います。</p>	<p>ご提案の趣旨を踏まえ、素案を修正させていただきます。</p>